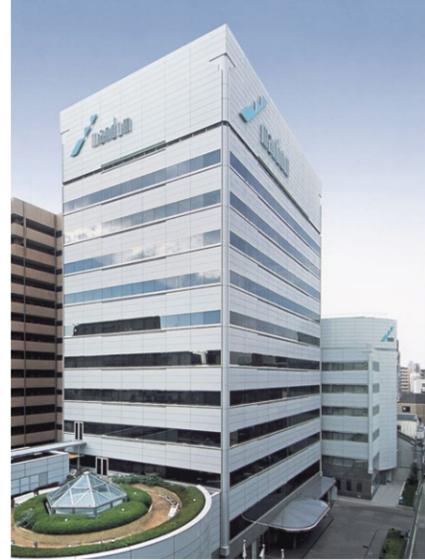


「考働レポート」という タイトルについて

わたしたちは、日常業務を遂行する基本的な心構えとして、昨日より今日、今日より明日と
社会が日進月歩で発展、進歩することを意識し、
日常的に考えながら働き、
創意工夫しなければならないという意味を込めて、
共通用語として「考働=“KohDoh”」を使用しています。



■「考働レポート2018」の編集方針

「考働レポート」では、多様で幅広いステークホルダーの皆さまからの期待と要請に応え、「社会の持続可能な発展」にむけたわたしたちの考働を、よりわかりやすく報告するように心がけています。

わたしたちは、2003年に「マダム環境報告書」を発行して以来、継続的に改善を積み重ね、CSR(企業の社会的責任)やサステナビリティ(持続可能性・持続可能な発展)に関する情報の公開とコミュニケーションの充実に努めてまいりました。

また、昨年は、マダムグループの創業90周年という節目の年であり、次の100周年(2027年)を見据えた新しい企業理念とビジョンを発表しました。(P.05/P.08 - P.09)

わたしたちは、マダムグループの“CSRの考え方とCSR指針”に基づき、以下の観点から「マダムグループCSR重要課題」(第2版:14テーマ)を選定しています。

CSR重要課題の 選定の観点	<ul style="list-style-type: none"> ● マダムグループのビジョン、理念体系、戦略・方針、考働規範などとの整合性と推進強化 ● グローバル企業が支持・尊重すべき国際行動規範や原則、国際的なイニシアチブとの整合性 ● エンゲージすべき多様で幅広いステークホルダーからの期待や要請の高さ ● バリューチェーン全体での経済・社会・環境に与えるインパクト(影響)に対する責任 ● 社会の「持続可能な発展」の実現にむけた国際社会全体での取り組みとの整合性
CSR活動を推進する 2つの基軸	<ul style="list-style-type: none"> ● わたしたちの快適な生活の基盤づくりのためのマイナスのインパクト(影響)の排除または低減(基本的CSR) ● 社会の「持続可能な発展」の実現にむけたプラスのインパクト(影響)の最大化(戦略的CSR・CSV)

CSR重要課題について、前回の「考働レポート2017」では、初めての進捗報告を行うとともに、幾つかのテーマについては長期目標(ゴール)と今後の方針と考働計画の報告をさせていただきます。

また、国際社会の最新動向や多様で幅広いステークホルダーの皆さまからの期待や要請を機敏に察知するとともに、CSR重要課題の見直しや改善、新たなテーマや目標の追加などわたしたちのCSR考働の推進と強化を目的として、2006年より、さまざまな分野の有識者の方々にご協力をいただきながらダイアログ(対話や意見交換)を継続して行っています。前回の「考働レポート2017」では、「パリ協定・脱炭素社会の実現」や障がい者や高齢者、LGBTの方々など多様な方々と正しく向き合うための「ユニバーサルマナー」の勉強会やダイアログの様子を報告させていただきました。

以上のこれまでの取り組みも踏まえて、今回の「考働レポート2018」では、主に以下の情報について報告しています。

マダムグループCSR重要課題(第2版)の進捗状況と今後の考働計画について

SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定、国連グローバル・コンパクトの提唱する4分野10原則などの国際社会の枠組みも踏まえて選定している14のテーマごとの進捗状況と今後の考働計画についての情報を掲載しています。今回で2回目の報告となります。

考働特集について

ビジネスと人権 ～社会の中で存在価値のある「人間系」企業に進化するために～

2011年に国連人権理事会で承認された「ビジネスと人権に関する指導原則」から、「英国現代奴隷法」の施行や「持続可能な調達」の国際規格「ISO20400」の発行などの流れを受けて、「ビジネスと人権」、特に企業のサプライチェーンにおける人権問題に注目が集まっています。

2017年10月に、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本の土井陽子さまにご協力をいただき、マダムとしては初めての「ビジネスと人権」に関する自主勉強会とダイアログを開催しました。今回の考働特集では、その内容を報告しています。

社会・環境に特化した情報の掲載について

考働レポートの限られたページ数の中で、マダムグループの社会・環境情報をより詳しくお伝えするため、また、マダムが発行している他の刊行物との情報の重複を防ぎ、読者の皆さまの目的に応じた情報の提供方法を探究するため、今回より、「組織統治・コーポレートガバナンス」に関する情報は「マダムレポート」(旧:アニュアルレビュー)に一括して掲載することにしました。

また、詳しい人事労務関連のデータや環境データなどについては、WEBサイトCSR情報のアクセス先をご紹介することで対応していましたが、考働レポートの可能な限りのスペースを使用して、情報を掲載しています。

マダムレポートは、以下のマダム公式WEBサイトよりダウンロードできますので、併せてご参照ください。

[マダム公式WEBサイト IR情報](https://www.mandom.co.jp/ir/)
<https://www.mandom.co.jp/ir/>

WEBサイトCSR情報との連携について

マダムでは、年1回の考働レポートの発行とともに、マダム公式WEBサイトにCSR情報の専門ページを開設し、わたしたちの考働に関するより詳しい情報を、随時、更新しています。「考働レポート2018」と併せてご参照ください。

[マダム公式WEBサイト CSR情報](https://www.mandom.co.jp/csr/)
<https://www.mandom.co.jp/csr/>

■尊重する外部イニシアチブの指針や参考にしたガイドラインなど

- 国連グローバル・コンパクトの10原則
- 日本規格協会「ISO26000 社会的責任に関する手引 2011」
- 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- GRI(Global Reporting Initiative) サステナビリティ・レポート・ガイドライン・スタンダード

[対象期間]

国内:2017年4月1日～2018年3月31日
海外:2017年1月1日～2017年12月31日
(いずれも、一部、直近の活動内容が含まれています)

[対象範囲]

株式会社マダムおよび国内外の関係会社の活動(P.04参照)。
福岡工場、オフィスビル(本社ビル、東京日本橋ビル、青山マーケティングオフィス)、および各営業所拠点のサイト内の活動。

国連グローバル・コンパクトの原則の実践状況および国連の様々な目標の支持について、この**コミュニケーション・オン・プログレス**を通じて報告しています。

内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

Contents

- 04 会社概要 / マダムグループの事業展開 / 財務ハイライト
- 06 トップメッセージ
- 08 マダムグループの理念
- 10 マダムグループのCSRの考え方と社会の持続可能な発展にむけたお役立ち考働
- 15 マダムグループCSR重要課題の進捗状況と今後の考働計画

考働特集

- 20 ビジネスと人権
～社会の中で存在価値のある「人間系」企業に進化するために～

わたしたちの考働

- 26 人権
- 28 労働慣行
- 35 環境
- 42 公正な事業慣行
- 44 消費者課題
- 48 コミュニティへの参画およびコミュニティの発展
- 51 第三者意見

[発行時期]
2018年8月(次回発行予定:2019年8月)

[お問い合わせ先]
株式会社マダム CSR推進部
〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5-12
TEL:06-6767-5106 FAX:06-6767-5042